

(書式2)

学会参加報告書

提出日 29年6月22日

学籍番号	16M0031	学系	スポーツ教育・健康教育学系
氏名	福西八光		
学会等名(正式名称)	International Symposium of Adapted Physical Activity		
開催日程	2017年6月12日～2017年6月16日		
開催場所(国・都市名)	Daegu Textile Complex (韓国・大邱)		
発表演題名	The Implications and Issues of Group Sport for Individuals with Severe Disabilities -Focusing on "Hand-Soccer" as an Inclusive Sport-		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 日本の学会と大きく異なると感じたのは、発表時間が厳守されていないことだ。規定された発表時間を大幅に超える者もいれば、半分ほどの時間で発表を終える者もいた。 質疑応答の時間では質問が行われなかったこともあったが、質問があった場合は発表者と質問者が納得いくまで活発な議論がなされていた。 学会期間中はバスで平昌パラリンピック会場を巡る体験プログラムが行われた。その他にも実際に身体活動を伴うプログラムが随所に用意されており、英語が得意でない私も積極的に各国の参加者と交流を行うことができた。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> “Parental Self-Efficacy and Parenting Practices in Parents of Young Children with and without Disabilities in Physical Development Domain “ この研究では障害のある子どもを持つ親の振舞いについて検討されていた。しかし、様々なバイアスがかかっており、まだ結論が得られていない。私の研究でも障害のある子どもの保護者への調査を行っており、同様の課題が考えられる。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> -ハンドサッカーを世界で受け入れてもらうためには、“ハンドサッカー”という名前ではなく“ハンドボール”という言葉を使った名前に変えたほうが良いと思う。 -なぜ、軽度障害選手は、重度障害選手が活躍するようにゲームメイクを行っていくのか。 -私の国(ドイツ)でも同じような取り組みがなされているから、今度調べてみるといい。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。